

第 7 3 回 岐阜県感染症対策専門家会議

新型コロナ対策の振り返り

令和 6 年 1 0 月 1 7 日
岐阜県

岐阜県における新型コロナの感染動向 1/2



※R5.5.8以降は推計値

岐阜県における新型コロナの感染動向 2/2

	第1波 R2.1-5	第2波 R2.5-10	第3波 R2.10-R3.3	第4波 R3.3-7	第5波 R3.7-12	第6波 R3.12-R4.6	第7波 R4.6-10	第8波 R4.10-R5.5	合計	5類移行以降 R5.5-R6.3
感染者数	150	480	4,037	4,615	9,653	87,752	188,506	249,867	545,060	293,291
1日あたり 最大感染者数	11	30	105	155	384	1,234	5,116	5,695		3,466
検査件数	3,893	20,438	119,064	132,141	199,428	469,087	391,910	583,217	1,919,178	-
1日あたり 最大入院患者数	116	144	412	556	544	588	573	496		-
最大確保病床数	267	625	694	783	882	894	914	886		-
最大病床使用率	49.4%	23.0%	65.8%	73.5%	69.5%	65.8%	63.2%	56.8%		-
重症患者数	8	12	58	77	54	30	26	44	309	-
重症化率	5.33%	2.50%	1.44%	1.67%	0.56%	0.03%	0.01%	0.02%	0.06%	-
死亡者数	7	3	105	72	32	126	252	531	1,128	-
致死率	4.67%	0.63%	2.60%	1.56%	0.33%	0.14%	0.13%	0.21%	0.21%	-
1日あたり 宿泊療養施設入所者数	4	7	195	377	968	1,364	1,362	477	4,754	-
最大宿泊施設確保病床数	265	466	603	957	1,823	1,998	1,998	1,998		-
1日あたり 自宅療養者数	0	0	0	0	944	4973	28,229	23,676		-

第1波（R2年2月下旬～5月中旬）

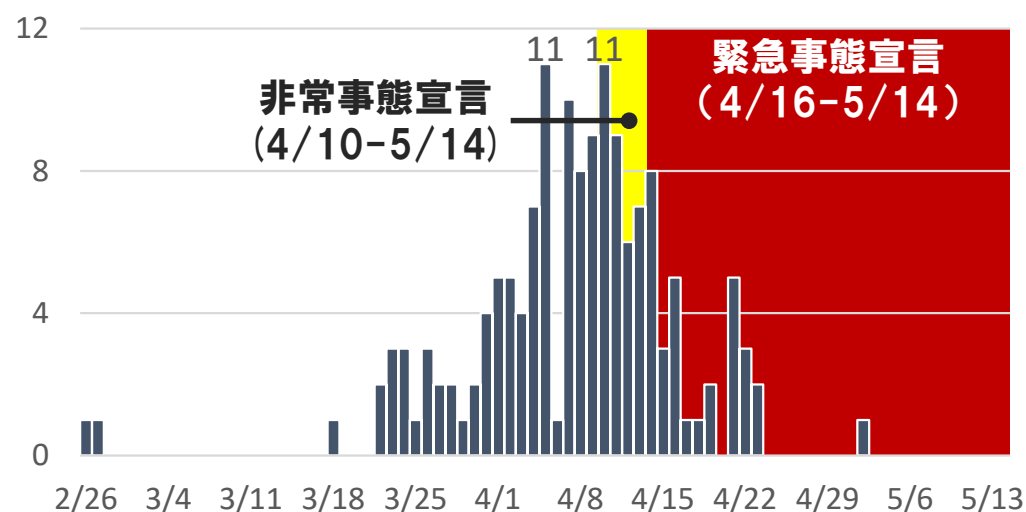
主な特徴

- 世界的な危機事案になるとの認識のもと、先手・先手を心がけた対策
- 年度末・年度初めの人流増加による感染拡大
- 後々の礎となる施策多数（専門家会議・対策協議会・調整本部設置、県&岐阜市合同本部設置など）

主な出来事

- 1/16 国内初の陽性者を確認
- 2/21 第1回専門家会議(兼第1回対策本部)開催
- 2/26 本県初の陽性者を確認
- 2/27 第1回対策協議会開催
- 2/28 県独自の総合的な対策を実施
- 3/2 学校の臨時休業開始（5/31まで）
- 3/27 県内初のクラスター発生（合唱団・スポーツジム）
- 4/2 第1回調整本部開催
- 4/4 県内初の死亡者
- 4/6 第1回東海三県知事会議開催
- 4/10 県独自の非常事態宣言発出
- 4/13 岐阜市とのクラスター対策合同本部設置
- 4/16 全都道府県が緊急事態措置区域に（～5/14）
- 4/21 初の宿泊療養施設を確保（ホテルKOYO本館）
- 5/8 感染症拡大防止協力金支給開始

一日あたり新規陽性者数の推移



第1波の累計陽性者数等

陽性者数	150人
重症者数	8人
死亡者数	7人
クラスター数	4件

第2波（R2年5月中旬～10月上旬）

主な特徴

- 夏休みの人流増加による感染拡大
- 愛知県由来、酒類を伴う飲食に起因する感染拡大
- 若者、学生、外国人県民の陽性者増
- 退院した方や医療従事者への「コロナ・ハラスメント」が問題化

主な出来事

6/26 「コロナ対策実行中！」ステッカー配布開始

7/9 岐阜県感染症対策基本条例施行

7/29 一日の新規陽性者数、第2波最大の30人

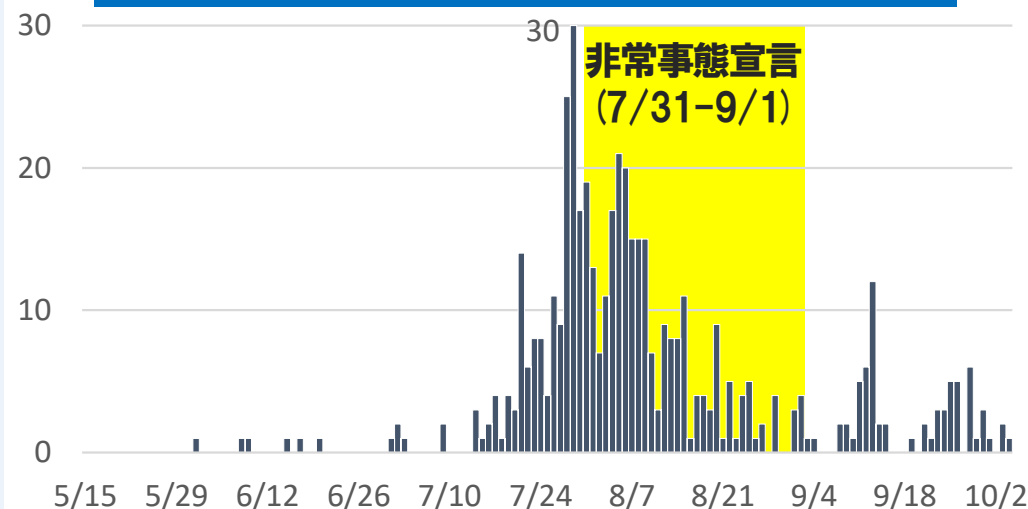
7/31 県独自の非常事態宣言（～9/1）

外国人クラスター発生(37人)

9/1 ストップ「コロナ・ハラスメント」宣言



一日あたり新規陽性者数の推移



第2波の累計陽性者数等

陽性者数	480人
重症者数	12人
死亡者数	3人
クラスター数	17件

第3波（R2年10月上旬～R3年3月上旬）

主な特徴

- 年末年始の人流増加による感染拡大
- 「飲食」だけでなく「医療機関」「福祉施設」クラスターが多数発生

主な出来事

12/18 「酒類の提供を行う飲食店」への時短要請

12/25 「医療危機事態宣言」発令

正月三が日の初詣自粛要請

成人式の延期等見直し要請

1/9 県独自の非常事態宣言

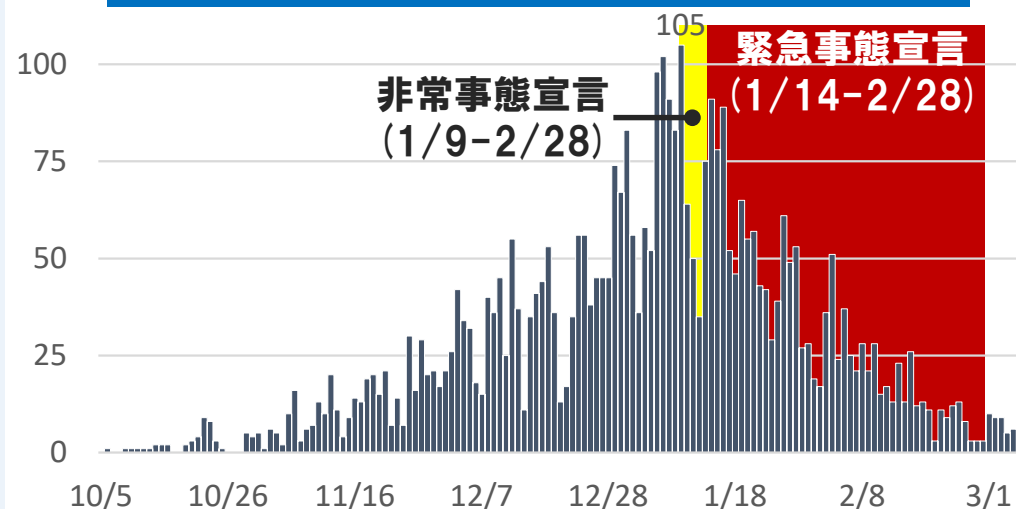
一日の新規陽性者数105人(第3波最大)

1/14 緊急事態措置区域に指定（～2/28）

2/3 病院での大規模クラスター発生(231人,3/22終息)

3/6 医療従事者向けワクチン優先接種開始

一日あたり新規陽性者数の推移



第3波の累計陽性者数等

陽性者数	4, 0 3 7人
重症者数	5 8人
死亡者数	1 0 5人
クラスター数	1 3 4件

第4波（R3年3月上旬～7月上旬）

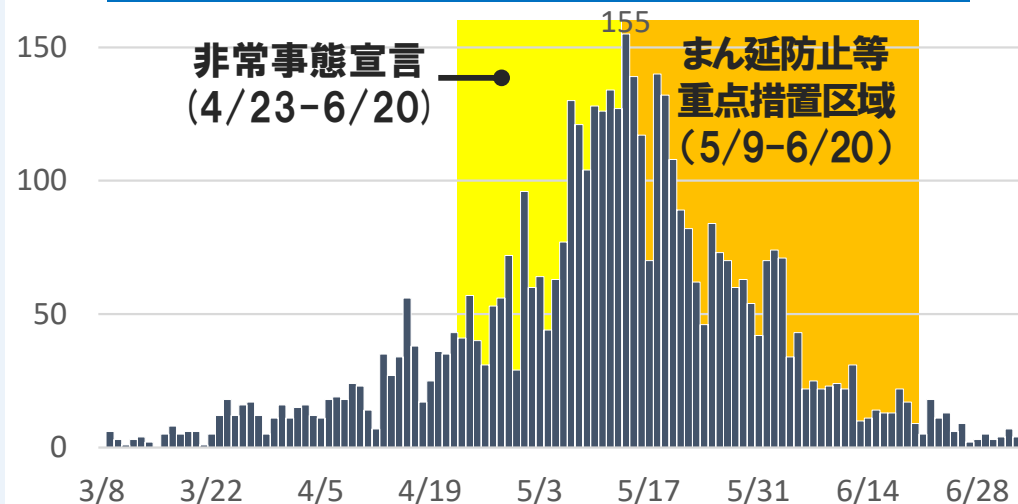
主な特徴

- 変異株（アルファ株）による感染急拡大（4か月で累計陽性者倍増）
- 「家族」「職場」クラスターの増
- 特定市町との連携策強化（岐阜市、美濃加茂市・可児市、八百津町）

主な出来事

- 3/17 県内初のアルファ株患者確認
- 4/12 高齢者向けワクチン優先接種開始
- 4/23 県独自の非常事態宣言
- 5/9 まん延防止等重点措置区域指定（～6/20）
- 5/14 一日の新規陽性者数155人（第4波最大）
- 5/18 病床使用率73.5%（過去最大値）、
cobas8800(全自動PCR検査装置)導入
- 6/12 大規模接種会場を設置(岐阜産業会館)
- 6/23 職域でのワクチン接種開始

一日あたり新規陽性者数の推移



第4波の累計陽性者数等

陽性者数	4, 615人
重症者数	77人
死亡者数	72人
クラスター数	163件

第5波（R3年7月上旬～12月下旬）

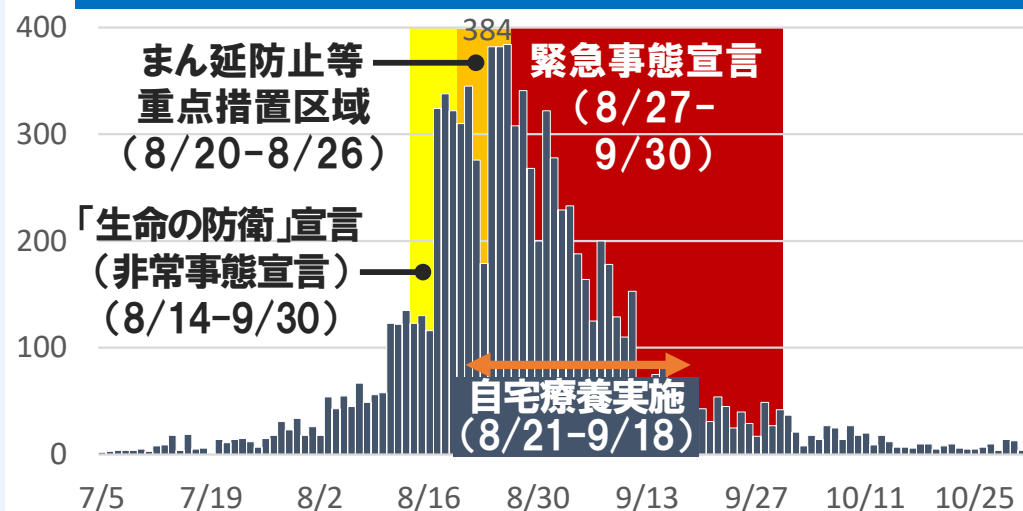
主な特徴

- デルタ株による感染急拡大
- 初の自宅療養開始（約1か月でゼロに復帰）
- 高齢者向け優先接種は7月末に全国1位の接種率で完了
- 対象人口の約8割が2回目接種済

主な出来事

- 8/1 感染症寄附講座（岐阜大学）を設置
- 8/14 オール岐阜「^{いのち}生命の防衛」宣言発出
- 8/20 まん延防止等重点措置区域に指定（～8/26）
- 8/21 初の自宅療養開始（9/18まで）
- 8/26 一日の新規陽性者数384人（第5波最大）
- 8/27 緊急事態措置区域に指定（～9/30）
- 9/30 臨時医療施設設置（岐阜メモリアルセンター 武道館）
- 11/16 246日ぶり新規陽性者数ゼロ（3/15以来）
- 12/1 医療従事者向け7ヶ所追加接種（3回目接種）開始

一日あたり新規陽性者数の推移（～11/1）



第5波の累計陽性者数等

陽性者数	9,653人
重症者数	54人
死亡者数	32人
クラスター数	225件

第6波（R3年12月下旬～R4年6月下旬）

主な特徴

- 極めて感染力の強いオミクロン株と、年末年始から成人式にかけての人流の増加などを契機に、爆発的に感染が拡大(若者→高齢者、小児に拡大)
- 医療機関、福祉施設及び学校でクラスターが多数発生
- 第5波に比べ、重症化率(0.56%→0.03%)・致死率(0.33%→0.14%)は減少

主な出来事

1/3 オミクロン株市中感染患者を県内初確認

1/17 県独自の非常事態宣言

1/19 まん延防止等重点措置区域に指定(~3/21)

1/22 二度目の自宅療養開始

1/28 「オミクロン株拡大阻止宣言」の発出

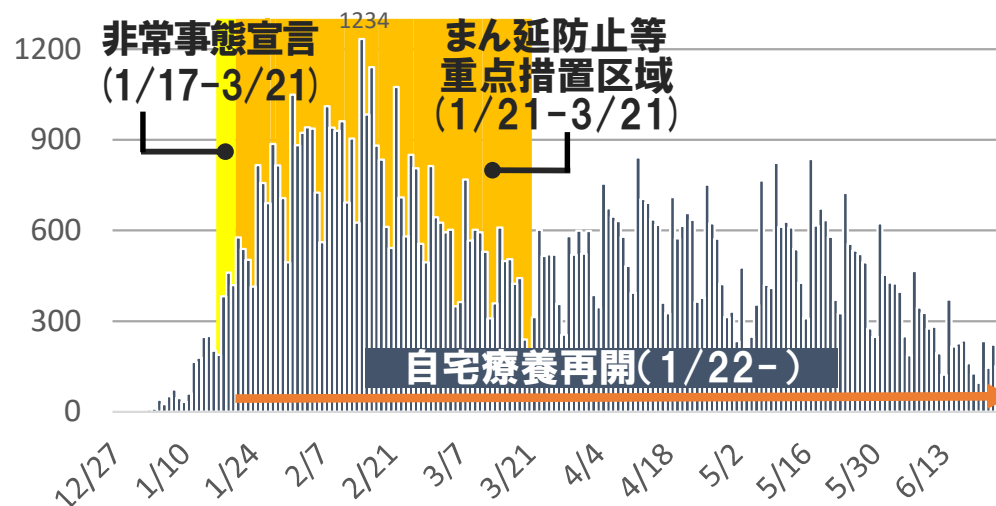
2/15 一日の新規陽性者数1,234人(第6波最大)

3/15 重点措置解除後の対策を発出

4/15 対策「感染再拡大危機に備えて」発出

5/30 「『ウィズ・コロナ』総合対策」発出

一日あたり新規陽性者数の推移



第6波の累計陽性者数等

陽性者数	87,752人
重症者数	30人
死亡者数	126人
クラスター数	458件

第7波（R4年6月下旬～10月上旬）

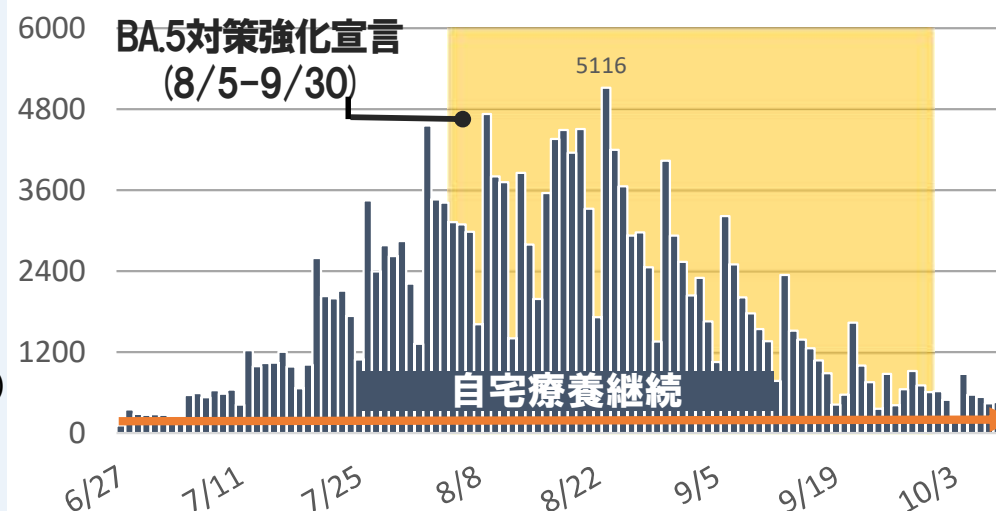
主な特徴

- 感染力の強い「BA.5系統」への置き換わり、第6波をはるかに上回る圧倒的な感染拡大、自宅療養者は2万人を超える規模へ
- 各地の医療機関で入退院制限、救急受入制限が発生
- 保健所業務も限界、業務を縮小・再整理

主な出来事

- 6/22 「BA.5」市中感染患者を県内初確認
- 7/15 対策「『第7波』急拡大防止に向けて」発出
保健所体制の重点化（7/16～・検査対象を限定）
- 7/27 対策「『第7波』急拡大への対応」発出
- 8/5 「『第7波』感染急拡大継続への対応
～岐阜県BA.5対策強化宣言～」発出（～9/30）
保健所業務の簡素化（8/11～・調査対象を限定）
- 8/12 岐阜県陽性者登録センターの運用開始
- 8/23 一日の新規陽性者数5,116人（第7波最大）
- 9/26 全数届出の見直し（発生届の対象範囲を限定）
※岐阜県では項目を限定して低リスク者も届出継続
- 10/1 病床確保料の見直し（9/22・11/21事務連絡）

一日あたり新規陽性者数の推移



第7波の累計陽性者数等

陽性者数	188,506人
重症者数	26人
死亡者数	252人
クラスター数	426件

第8波（R4年10月上旬～）

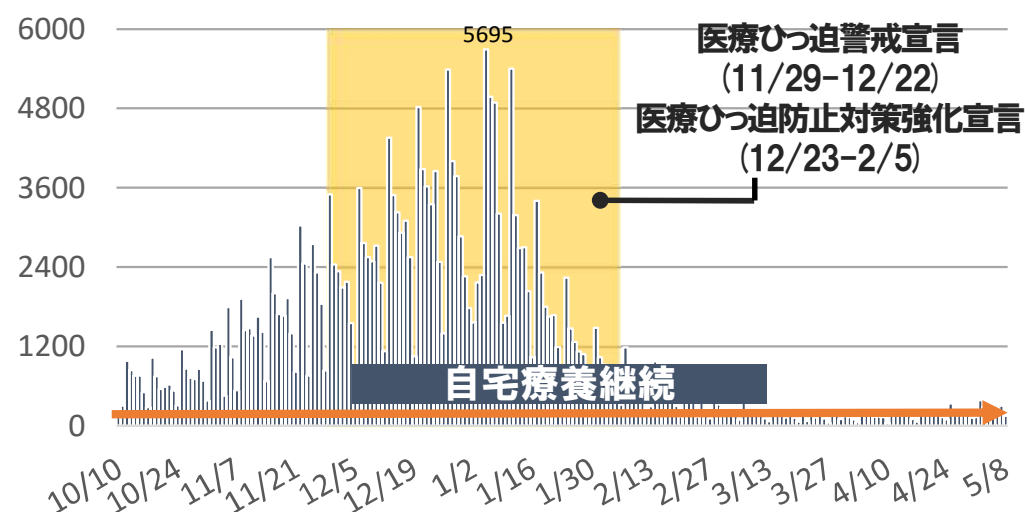
主な特徴

- 過去の波で最大の感染者数、これまでの累計感染者数が50万を超える
- 病床使用率が50%を超過、各地の医療機関で入退院制限、救急受入制限
- 重症化率は低いものの、感染者数が多いため、過去最多の死亡者数
- 県独自の警戒宣言、初の医療ひっ迫防止対策強化宣言、5類移行に向けた対応を開始

主な出来事

- 11/29 「岐阜県医療ひっ迫警戒宣言～かつてない年末年始を避けるために～」発出
- 12/23 「レベル3：医療負荷増大期」と判断し、「岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言」発出（～2/5）
- 12/27 神社・寺院関係者との意見交換会実施
- 1/5 一日の新規陽性者数5,695人（過去最大）
- 1/17 50万例目発表
- 2/3 「レベル2：感染警戒期」と判断し、対策「第8波の終息に向けて」発出（適用開始日：2/6）
- 3/3 「レベル1：感染小康期」と判断し、対策「第8波の確実な終息を目指して」発出

一日あたり新規陽性者数の推移



第8波の累計陽性者数等（5/8時点）

陽性者数	249,867人
重症者数	44人
死亡者数	531人
クラスター数	796件

5 類移行以降（R5年5月8日～R6年3月31日）

主な特徴

- R5年5月8日に 5 類に変更され、国が「幅広い医療機関による自律的な通常の対応への移行」を決定
- 国の決定に沿った通常の対応へ移行しつつも、一部の取組みを独自に継続

主な出来事

R5/5/8 5 類感染症に位置付けが変更
通常の対応に移行しつつも、次の取組みを独自に継続

- ・相談対応窓口を継続（～R6.6）
- ・「岐阜県リアルタイム感染症サーベイランス」により感染動向を日次把握
- ・県条例に基づく対策本部、対策協議会、専門家会議による「オール岐阜」体制を継続

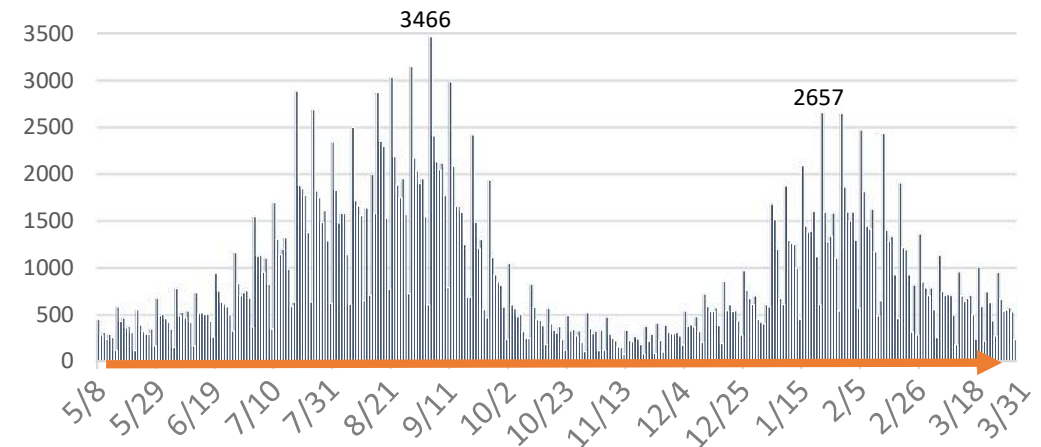
R5/7 夏の感染拡大への警戒を呼び掛け

R6/1 冬の感染対策の徹底を呼び掛け

R6/7 夏の感染拡大への警戒を呼び掛け

R6/8 医療ひっ迫回避のため調整本部を開催し、各機関の役割を確認

一日あたり新規陽性者数の推移



5 類移行後の累計陽性者数等（R6.3.31時点）

陽性者数	293,291人
重症者数	—
死亡者数	—
クラスター数	192件

新たな感染症危機への備え

1 感染症対策連携協議会の設置 [R5年7月]

- ・ 行政・医療機関・関係団体等との連携体制を強化

2 感染症予防計画の改定 [R6年3月]

- ・ 新興感染症発生時の医療提供体制を充実させるほか、数値目標を設定し進捗を管理
- ・ 医療機関、民間検査機関、宿泊事業者と協定を締結し、医療提供、検査実施、宿泊療養体制を確保するとともに、役割分担を明確化

医 療：病床確保、外来診療、自宅療養者等への医療提供、後方支援等、各医療機関の役割を明確化

検 査：県保健環境研究所の機能強化とともに、民間検査機関における検査体制を確保

宿泊療養：宿泊療養体制を確保し、医療機関の負担を軽減

3 新型インフルエンザ等対策行動計画の改定 [R6年度中]

- ・ 県民の生命及び健康の保護、県民生活及び経済に及ぼす影響の最小化を目的に、「情報収集・分析」「ワクチン」「まん延防止」「県民生活・経済」などの各項目ごとに、平時の準備や感染症発生時に必要な対策を整理のうえ、進捗を管理